

# スマートフォンを業務で活用する 統合開発環境ソフト「MobileUnity」

富士通ビー・エス・シー（以下、富士通 BSC）は、スマートフォン向け統合開発環境ソフト「MobileUnity」を4月から発売する。同社が長年培ってきた業務アプリケーション開発・実行基盤、デバイス制御・運用管理、セキュリティの各機能を統合。スマートフォンを業務で活用する際に必須となるデータの暗号化や端末のリモート制御などを考慮し、高機能・高品質なシステム開発環境をワンストップで提供する。

## スマートフォンに最適化した 開発環境をワンストップで提供

携帯電話の利便性とノートPCの機能性を備えたスマートフォンの登場で、企業のモバイル環境が変化する兆しを見せ始めている。これまで、業務でモバイル端末を利用する場合、営業支援、保守支援は携帯電話や携帯情報端末(PDA)、在庫管理や受発注はハンディターミナルのように、業務に応じて端末を使い分けてきた。そのため、端末ごとに業務アプリケーションを開発する必要があり、システム開発や端末の運用管理の負荷軽減が企業の課題になっていた。また、いったん開発した業務アプリケーションも、新機種が発売されるとこれに追いついていくことが大きな負担になっている。

こうしたモバイル活用の課題を解決すると期待されるのがWindows Mobile対応スマートフォンである。既存のWindowsアプリケーションとの親和性が高く、PCや業務システムとの連携も容易に行える。

Windows Mobile対応スマートフォンを業務に活用するニーズが高まる中、富士通BSCではスマートフォン向け統合開発環境ソフト「MobileUnity」を提供。その特徴は「アプリケーション開発・実行基盤、デバイス制御・端末運用管理、暗号化・情報漏洩抑制のセキュリティなど、当社が長年培ってきた技術を統合。スマートフォンの業務利用に最適化したシステム開発環境をワンストップで提供



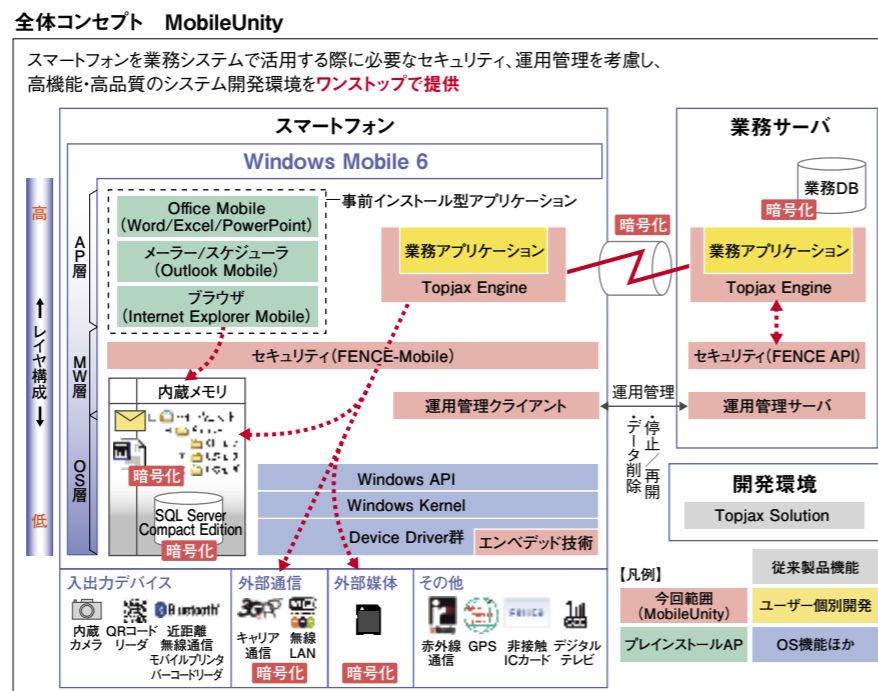
株式会社富士通ビー・エス・シー  
パッケージ&サービス本部  
本部長代理  
**石上 朗氏**

することです」と、パッケージ&サービス本部の石上朗氏は強調する。

## デバイス制御や運用管理を担う 「MobileUnity」

アプリケーション開発・実行基盤となるのが、XMLによる画面・伝票定義に基づいてシステムを構築できる「Topjax Solution」である。スマートフォンの機種やキャリアに依存しない業務アプリケーション開発が行え、開発者は業務処理の実装に専念できる。また、業務アプリケーション実行エンジンを搭載し、業種・業態に依存しない共通の実行基盤を提供。

デバイスの制御と運用管理は、「MobileUnity」に含まれるミドルウェアが担うことになる。これは、携帯電話向



けミドルウェア「MobileManager」をスマートフォンに対応したもの。スマートフォン内蔵のカメラや2次元コードリーダなどのデバイスやBluetooth通信機能で接続するモバイルプリンタやバーコードリーダなどのインターフェースを提供。「端末機種の違いをミドルウェアで吸収し、業務アプリケーションからデバイスを利用できます」と、第二システム本部の小宅昭樹氏は「MobileUnity」の利点を説明する。

運用管理では、MobileUnityで開発したスマートフォン側の業務システムをバージョンアップする際の自動配信やスマートフォン紛失時の端末業務停止、端末業務データ消去などの機能をサーバと連携して提供する。また、通信時のデータ盗聴・改ざん防止、サーバの不正接続防止機能なども提供しており、スマートフォンを安心・安全に利用できる。

端末のオンライン/オフラインの制御など、利便性の向上を図っていることも特徴だ。受発注の場合、オンラインで最新の在庫情報を確認後、オフラインで発注データを作成するといった使い方ができる。また、スマートフォン内蔵のカメラで撮影した写真など、大容量データを送

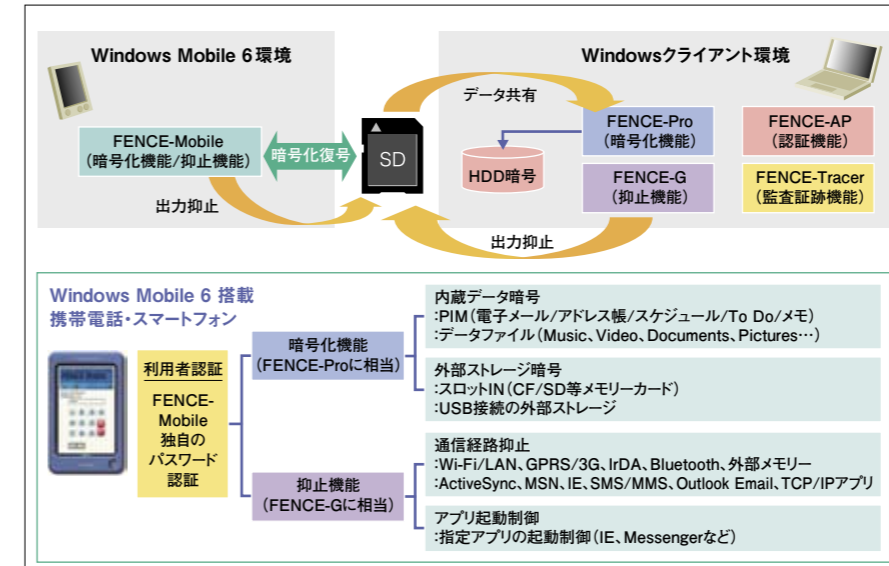
る場合、回線の制約から送信エラーになることもある。「MobileUnityは、独自方式による通信圧縮や大容量データを分割して送信する機能を備え、スマートフォンの利用時の利便性を高めています」と小宅氏は述べる。

## 暗号化機能と情報漏洩抑制の 独自セキュリティ技術を適用

スマートフォンを社外で利用する際、不可欠になるのがセキュリティである。富士通BSCでは、自社開発のパソコン向けセキュリティ製品「FENCEシリーズ」を提供し、これまで約200万ライセンスの導入実績がある。「FENCEシリーズ」で提供するデータ暗号化機能と情報漏洩抑制機能をモバイル端末向けに改良した「FENCE-Mobile」を新たに開発、「MobileUnity」に実装している。

スマートフォン内蔵メモリとSDカードなどの外部記憶媒体に保存されたデータを暗号化することにより、スマートフォンの紛失・盗難時にもデータを保護できる。また、情報漏洩抑制機能により、無線LANやSDカード、モバイルプリンタなどスマートフォンに付随する各種デバイスの利用を制限。「SDカードへのデータ保

## セキュリティ FENCE-Mobileの機能



株式会社富士通ビー・エス・シー  
第二システム本部  
第一システム事業部 事業部長代理  
**小宅 昭樹氏**

存を禁止したり、特定アプリケーションの起動を制限したりするなど、企業のセキュリティポリシーに応じたアプリケーション開発、運用が行えます。最大の特徴は、スマートフォンで暗号化したSDカード等、外部媒体をPCでも使用できること。スマートフォン、PC、サーバ、メールと企業内の様々な情報環境に対し同じアーキテクチャーで暗号化できる、「FENCEシリーズならではの機能です」と、石上氏は「MobileUnity」のセキュリティ技術の優位性を語る。

富士通BSCでは、「MobileUnity」の提供に加え、企業ニーズに応じて業務アプリケーションの開発を行うなど、スマートフォンの業務活用をトータルに支援する。

※本文中に記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

お問い合わせ先



株式会社 富士通ビー・エス・シー  
第二システム本部  
〒135-8300  
東京都港区台場2-3-1 (トレードピアお台場)  
TEL : 03-3570-4311  
URL : <http://www.bsc.fujitsu.com/>